

# その他開催情報

※詳細については各連絡先にお問い合わせください。

日時・場所	主な演題および講師	連絡先
JCS 社団法人 日本循環器学会北海道支部 アメリカ心臓協会の心肺蘇生コースのご案内		
1月17日(土) 11:50~18:30(予定) 1月18日(日) 8:50~15:00(予定) 札幌医科大学医学部 基礎医学棟5階 共通会議室	JCS-ITC AHA BLS ヘルスケアプロバイダーコース(1日コース) コースディレクター 高橋 弘(製鉄記念室蘭病院) ・募集人数 各日18名 ・受講料 15,000円(軽食、飲み物あり) ・受講対象 原則として医療に従事している方、医学教育に係っている方、医歯薬学生、看護学生など	*申込締切 平成27年1月6日(火) 必着  ※申込方法 ①日本循環器学会HPよりアクセス <a href="http://www.j-circ.or.jp/information/acls/acls.htm">http://www.j-circ.or.jp/information/acls/acls.htm</a> ②FAX可 (下記まで問い合せください) 日本循環器学会 北海道支部事務局 横式 尚司(事務局 小林) TEL 011-706-6973 FAX 011-706-7874
JCS 社団法人 日本循環器学会北海道支部 アメリカ心臓協会の心肺蘇生コースのご案内		
1月31日(土) 8:30~19:00(予定) 2月1日(日) 9:00~16:00(予定) 札幌医科大学 保健医療学部	AHA-ACLSプロバイダーコース (2日間) コースディレクター 高橋 弘(製鉄記念室蘭病院) ・募集人数 20名 ・受講料 32,000円(昼食、飲み物あり) ・参加資格 原則として医療従事者 (医師、看護師、救急救命士などの日本国内での医療国家試験有資格者に限定します)	*申込締切 平成27年1月20日(火) 必着  ※申込方法 ①日本循環器学会HPよりアクセス <a href="http://www.j-circ.or.jp/information/acls/acls.htm">http://www.j-circ.or.jp/information/acls/acls.htm</a> ②FAX可 (下記まで問い合せください) 日本循環器学会 北海道支部事務局 横式 尚司(事務局 小林) TEL 011-706-6973 FAX 011-706-7874

## 日医認定産業医制度研修会開催一覧

◇産業保健部◇

開催日時	開催場所	主なテーマおよび講師	単位数	連絡先
平成26年12月17日(水) 18:30~21:00	札幌市医師会館 (札幌市)	「医療分野の「雇用の質」の向上のための研修会」 ・職場環境の改善に向けた取り組み事例について 札幌白石記念病院副院長 高橋 明 ・職場におけるメンタルヘルス対策について 日本産業カウンセラー協会理事 桑原富美恵 ・産業医にかかる医療の分野における相談状況について 北海道社会保険労務士会医療労務管理アドバイザー 菅田真紀子 ・労働基準法に関して 北海道労働局労働基準部監督課副主任監察監督官 小西 利典	生涯研修 更新0.5・専門2	北海道社会保険 労務士会 (011-520-1951)
平成27年3月7日(土) 14:00~17:00  日本産業衛生学会北海道地方会 第18回産業医・産業看護・産業衛生 技術・産業歯科保健合同研修会	北海道大学学術交流会館 (札幌市) 参加費:2,000円 ※日本産業衛生学会北海道地方会会員 は無料 事前申込み:下記URL よりお申込みください <a href="http://jsoh-hokkaido.umin.jp/">http://jsoh-hokkaido.umin.jp/</a>	・第三次産業における労働安全衛生の課題と取り組み -特に小売業を中心として 北海道労働保健管理協会札幌総合検診センター所長 原 俊之 ・職場における感染症対策 北海道教育大学保健管理センター所長 羽賀 将衛 ・労働安全衛生法の改正と最近の労働衛生行政について 北海道労働局労働基準部健康課長 羽生 和彦	生涯研修 更新1・専門2	日本産業衛生学会 北海道地方会事務局 (0166-68-2402) Mail: jsohhokkaido-office @umin.ac.jp

\*上記研修会は、本号より新たに掲載されたもので、現在日医認定産業医制度指定研修会として日本医師会に承認申請中です。

注1:新規認定のためには、基礎研修50単位以上(前期研修14単位以上、実地研修10単位以上、後期研修26単位以上の合計50単位以上)の修得が必要です(前期研修については、総論2単位・健康管理2単位・メンタルヘルス対策1単位・健康保持増進1単位・作業環境管理2単位・作業管理2単位・有害業務管理2単位・産業医活動の実際2単位のそれぞれの単位修得が必須)。

注2:更新認定のためには、認定取得後の5年間に生涯研修20単位以上(更新研修、実地研修、専門研修各1単位以上の合計20単位以上)の修得が必要です。